

6. ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP)

6.1 ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」

<活動概要>

平成14年度から文部科学省により開始されたナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) の一環である。自然科学研究機構 (生理学研究所) を中核機関、京都大学 (霊長類研究所) を分担機関として、安全で健康なニホンザルを日本のさまざまな研究機関に提供することを目的として実施してきた。平成27年度より日本医療研究開発機構 (AMED) のプロジェクトとなった。平成29年度より第4期 (5年計画) に入った。第4期からは、京都大学が代表機関となり自然科学研究機構を分担機関とし実施することとなった。現在、約400頭のニホンザルの3分の2を善師野第2キャンパス内で、3分の1を官林キャンパス (第1キャンパス) 内で飼育している。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による非常事態宣言が2度発令されたが、全体として対応でき、事業としてもほぼ予定通り実施できた。実績は以下の通りである。1) 京都大学霊長類研究所にてNBRPニホンザル運営委員会を3回開催し (全てオンライン会議)、提供検討委員会を5回 (うち2回はオンライン会議、3回はメール会議) 開催した、2) 自然科学研究機構生理学研究所との合同会議を4回 (全てオンライン会議) 開催した、3) 獣医師を新たに雇用してプロジェクトの実施体制を整備・強化した、4) 非常事態宣言等により提供が2回になったため、サル検疫場所を拡大して出荷体制をより拡張し、目標に近い67頭の提供を実施した。提供に関する業務は出荷検疫にいたるまですべて京都大学が実施した、5) ライセンス講習会 (オンラインにて1回開催) 等を通じて、ニホンザルを用いた研究者の教育や指導を行った、6) サルの疾病対策等に関しては、飼養個体のBウイルスおよびSRV検査を実施した、7) 神経科学学会の大会期間中にユーザー会議を開催し、ユーザーとの情報交換を行った、8) 広報活動および新たなユーザー開拓を目的として日本分子生物学会におけるNBRPオンライン展示会に出展した。また、新型コロナウイルス対策の第2次補正予算を配分してもらえ、自動給餌装置やリモートで体温・心拍・呼吸をモニタするシステム等の導入ができた。ニホンザルを用いた研究についてHPを用いた情報発信、およびニホンザルユーザーに対してメールベースのニュースレターの発行などに努めた。さらに、日本分子生物学会におけるNBRPオンラインフォーラムで、NBRPニホンザルの活動の説明や主な成果を発表する講演を行い、事業の意義を広く伝えた。平成30~31年度に採択された基盤技術整備プログラムから引き続き、BウイルスDNA測定系の開発を進めている。

研究用ニホンザルの繁殖・飼養・提供

中村克樹・大石高生・今井啓雄・東濃篤徳・前田典彦・橋本直子・浜井美弥・佐野素子・熊谷かつ江・安江美雪・大川夏菜・常盤准子・金玲花・洞田智子・黒澤拓斗・辻勝久・坂野晴風・各務詩乃・杉山宗太郎・林美紗・釜中慶朗 (派遣社員)・山田悠公 (派遣社員)

ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」では善師野第2キャンパスにて300頭以上のニホンザルを飼育している。主な飼育環境は3つの放飼場および5棟のグループケージで構成される。年間80頭の繁殖、70頭の提供を目標にしている。研究用ニホンザルの提供事業のために、繁殖・育成・検疫・提供まで一連の作業を実施した。

研究用ニホンザルの健康管理

兼子明久・森本真弓・東濃篤徳・安江美雪・黒澤拓斗

獣医師によるニホンザルの獣医学的健康管理を行なった。また、微生物学的管理のためにウイルス検査等を実施した。

ニホンザルBウイルスDNA測定系の開発

東濃篤徳・明里宏文・中村克樹

ニホンザルBウイルスの生活環や危険性を評価し事業参加者の安全性を向上するため、また、コロニーのBウイルスフリー化を加速するために、BウイルスDNA測定系の開発を実施した。

<研究業績>

第43回日本分子生物学会 (東濃 篤徳、今井 啓雄、大石 高生、浜井 美弥、磯田 昌岐、南部 篤、中村 克樹、ZOOMによるオンラインフォーラム、2020年12月2日)

「ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」の紹介」(講演)

<広報活動>

第43回日本分子生物学会年会企画 NBRP オンライン展示会「バイオリソース勢ぞろい」: ナショナルバ

イオリソースプロジェクト「ニホンザル」の紹介（2020年12月2日～4日）

<委員会>

運営委員会：3回開催（オンライン会議3回）

委員：西条 寿夫、明里 宏文、伊佐 正、稲瀬 正彦、坂上 雅道、田中 真樹、竹村 文、山田 一
憲、和田 圭司、南部 篤、磯田 昌岐、中村 克樹

提供検討委員会：5回開催（オンライン会議2回、メール会議3回）

委員：竹村 文、西村 幸男、宇賀 貴紀、足立 雄哉、猿渡 正則、中村 晋也、山田 洋

疾病検討委員会：

委員：中村 克樹、明里 宏文、中村 紳一郎、大沢 一貴、小野 文子、浦野 徹、俣野 哲朗

（中村克樹）